

鋼製ローラーに付着したゴムを燃焼中、軸受が飛び出し被災者に直撃



業種	その他の非鉄金属製造業	
事業場規模	5～15人	
機械設備・有害物質の種類(起因物)	引火性の物	
災害の種類(事故の型)	激突され	
被害者数	死亡者数：1人 不休者数：0人	休業者数：0人 行方不明者数：0人
発生要因(物)	構成材料の欠陥	
発生要因(人)	危険感覚	
発生要因(管理)	その他	

No.100126

発生状況

この災害は、スクラップとして搬入された鋼製のローラーに付着したゴムを鋼製、被災者に直撃しボックスで燃焼中にローラーの軸受がボックスを突き破って飛び出したものである。

災害発生当日は、スクラップの切断に使用される切断機が補修中のため、回収業者が搬入したスクラップの検収、選別、天井クレーンによる移動と前日搬入された鋼製のローラー(長さが約1.8メートル、直径が約15センチメートル)の表面に付着していたゴムを他の木材や紙とともに焼却して除去する作業を行なうことになった。焼却は、事業場の土場に置かれた鋼製のボックス(長さ130cm×幅210cm×深さ100cm)の中で行なわれるもので、午前中には2本が焼却された。

午後は、1時から作業が再開され、被災者は同僚の1名とともにスクラップの選別作業に従事していたが、災害の10分程前にスクラップの回収業者がトラックでスクラップを搬入してきたので、同僚はその検収のために選別の場所を離れた。

それから間もなくして、「ドン」というような大きな音がしたので同僚が振り返ると、被災者が焼却用のボックスから1メートル程離れたところで仰向けの状態で倒れていた。

原因


この災害の原因としては、次のようなことが考えられる。

- 1 中空のローラー内部が穴の詰まった軸受で塞がっていたため密閉状態になり、中にあった可燃性の液体が加熱されて急膨張したこと
- 2 廃品として回収されるスクラップ荷は危険有害な物も多く含まれているのに、その処理要領が定められていなかったこと
- 3 会社に安全衛生管理体制がなく、また、安全衛生教育がなされていなかったこと

対策

この災害は、スクラップとして搬入された鋼製のローラーに付着したゴムを鋼製ボックスで燃焼中にローラーの軸受がボックスを突き破って飛び出したものであるが、同種災害の防止のためには、次の対策が必要である。

- 1 スクラップの選別と処理要領を定めること
- 2 焼却施設の整備を行うこと
- 3 作業者任せでなく作業の管理を行うこと
- 4 作業に伴う危険有害性について安全衛生教育を実施すること
- 5 安全管理体制を整備しパトロールの実施等を行うこと

 [このページを印刷する](#)

[アンケートにご協力ください](#) >

Copyright © Ministry of Health, Labour and Welfare, All Right reserved.